

年代別女性の疾病リスク



女性は年代別に気をつけたいことが異なります。20代からの疾病リスクとして、**子宮頸がん**や月経障害、妊娠に伴う異常や**帝王切開**など、すでに多くの女性特有のリスクが出始めます。

40代になると、乳がんや子宮がんのリスクも高まり、**筋腫が大きくなり手術**を受ける方が多くなるのもこの時期です。また女性は甲状腺機能の異常からバセドウ病や橋本病と診断される方も多くおられます。

60代以降は女性特有のがんだけでなく、大腸がんなども増加する傾向があります。女性は**骨折**や**股関節**、**膝関節**が悪くなる方が比較的多く言われています。

女性は長期間にわたり病気等のリスクに備える必要性があると感じます。

年齢が低い方が保険料を抑えることが出来ますので、**早めにご検討ください。**



FP保険の相談所

垂水駅前店 078-862-8451 西神戸店 078-921-7701

営業時間：10：00～17：00 営業時間：9：30～17：30

営業日：月・火・木・金・土 営業日：月～金

ホームページ：右のQRコードから または

ライフプロモーション神戸で検索



＜取扱保険会社＞
メットライフ生命 アフラック
オリックス生命 三井住友海上あいおい生命
FWD富士生命 ジブラルタ生命 アクサ生命
東京海上日動あんしん生命 SOMPOひまわり生命
NN生命 三井住友海上火災 ソニー損保

FP保険通信

NO.51 2021.4 発行

働けなくなったときの保険

最近、保険相談の際によく要望をお聞きするのが「**就業不能**」の保障で、働けなくなったときに保険金が受け取れる種類の保険です。

公的保障の「**傷病手当金**」は、会社員の方がお休みして給与が出ない場合に受取が出来るもので、**給与の約3/4程度の金額が最長1年6か月間支給**される制度です。

しかし個人事業主の方や商店などで働かれています方(国民健康保険加入の方)には残念ですがその制度がありません。ご自身がどの公的保険に加入しているかを確認しておくことが大切です。

以後、療養状態の長期継続から、障害年金を受取るケースもあります。障害厚生年金の方は、状態が軽い3級からが対象となり、1・2級の方は障害厚生年金+障害基礎年金が受取り出来ますが、国民年金の方は3級がなく、1・2級が対象となり障害基礎年金のみとなります。

障害年金は、眼や耳、手足等の障害だけではなく、**がんや糖尿病などの病気で長期療養が必要な場合**も受取できることがあります。

ご自身の加入している公的制度を考慮した上で、不足だと感じる部分を個人の保険で備えてください。



就業不能の保険選びについて

今は多くの保険会社が、就業不能の保険を取扱っていて、その内容にも違いがあります。ご自身の希望する保障を選びたいものですよね。保障金額をいくりにするかも大切ですが、FPとしては、特に**支払われる際の要件を重要視**していただくことをおすすめします。

単純に仕事ができなくなれば保障されていると思込んでいると、請求時になって「こんな要件が必要だったんだ…」となる場合もあり、支払要件を確認してお選びください。

期間については、**いつまで保障が必要なのか**を家族構成等を考慮してお考えください。10年や15年で更新するタイプの場合、当初の保険料は、安く抑えられて良いのですが、更新時に保険料負担が重くなり、保障を手放さざるを得なくなることもあります。

支払要件を知ることや、いつまで保障するかなど、しっかりと当スタッフにご相談ください。

☆食品ロスを減らす保存方法のひとつ☆

しょうがを保存する時、洗って蓋つきの容器に入れ水につけておいて、使う時々洗って水を換えると長持ちしますよ(^^♪

